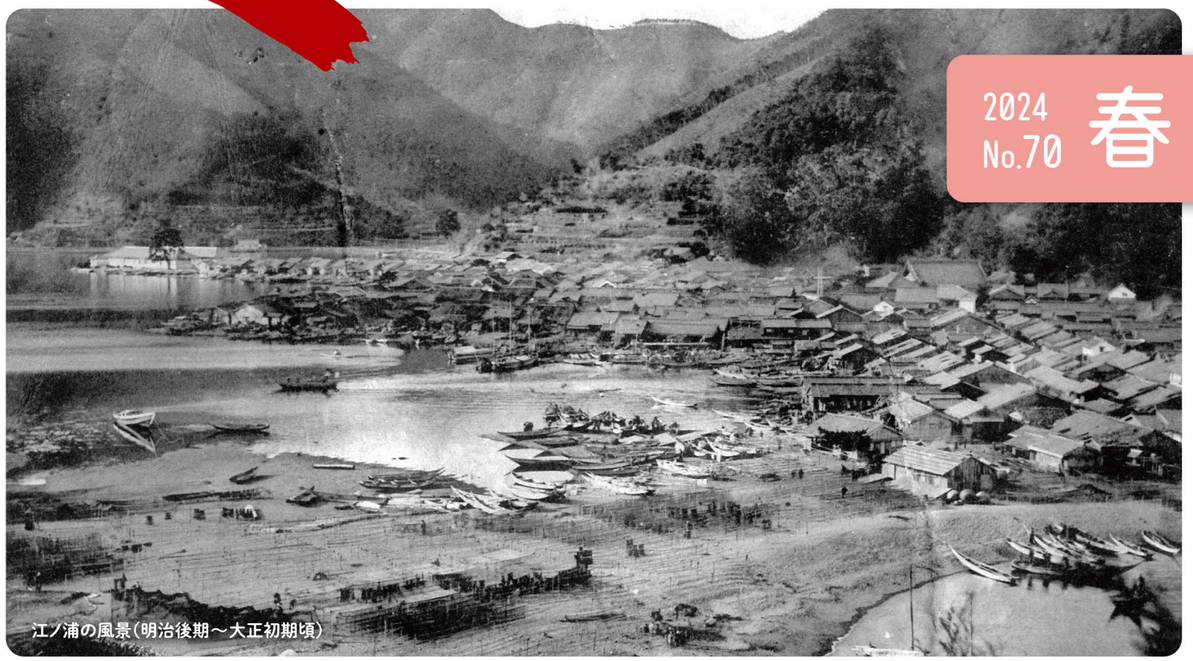
三重県立熊野古道センター からのてがみ

The Letter from Mie Prefectural Kumano Kodo Center

2024 No.70 春


江ノ浦の風景（明治後期～大正初期頃）

企画展

写真で懐古・故郷の暮らしと風景
紀北町

会期 2024 4/27（土）～6/16（日）

赤羽川堤の桜並木（昭和30年頃）

遠い昔の情景や人々の暮らし、文化、歴史などを今に伝える古写真。カラー写真がなかった時代に光の強弱のみで表現されたモノクロ写真は、過ぎ去った時代のうつろいを今に伝えています。

昨今はスマホやデジタルカメラが普及し、その時々の思いや記録を映像として残すことは容易です。しかし、昭和中期頃まではカメラはとても高価な上、撮影・現像にも手間がかかるので、今ほど一般的ではありませんでした。撮影した写真も長い年月の間に紛失、或いは災害などで消失したりと現存する写真は思いのほか少なく、東紀州地域のように人口の少ない地方では尚更限られているのが実情のようです。

そんな中、昭和年代に県市町村や公的機関、商工会、商店などから時折発行されていた絵葉書には、腕利きの写真家などにより撮影された写真が明瞭に印刷され、それらが現在になって収集家によって所蔵されていたり、郷土資料館などに寄贈されているのが散見されます。当センターでは令和2年度より東紀州の市町に残されている古写真を紹介する企画展を開催しており、本年度はシリーズ最終の紀北町の特集となります。当展示では、古い絵葉書に印刷された風景写真などを中心に、個人によって撮影された貴重なスナップ写真なども紹介する予定です。

三重県南部に位置し、大台山系の山々と美しく清らかな川、紺碧の熊野灘に囲まれた自然豊かな町、紀北町。近年は、世界遺産熊野古道などの豊かな観光資源を活用した産業も盛んになり、新たな地域づくりに向かっている活気に満ちた町です。今回は、そんな魅力溢れる紀北町での「二十世紀の一齣（ひとこま）」に想いを馳せていただく機会といたします。

東長島　両郷橋の風景（昭和初期頃）

Guide & Tips

くまの自然歳時記 Vol.8

森のハンター

ハイタカ

枝に留まったハイタカのメス

12月中旬、下北山村池郷川右岸の林道を山稜目指して歩いていた時のことである。突然目の前を2つの飛翔物体が高速で通り過ぎた。瞬時に2つの物体は野鳥であると認識できたが、何の鳥であるかはわからなかった。数秒後、10m程先の林道上に2羽の野鳥がもんどりうつように落ちてきた。すぐその場にしゃがみこみ成り行きを見守った。1羽はアオバト、もう1羽は猛禽類のハイタカまたはオオタカだと直感でわかった。ハイタカらしき鳥はアオバトを両脚の爪で鷲掴みし押さえ込んだ。そして間髪入れずに鋭いくちばしがアオバトの体に食い込んだ。

ハイタカらしき鳥はこちらの存在に気づいたのだろう、すばやく近くの木の枝に飛び移った。仕留めた獲物を見つつ、同時にこちらを警戒している。アオバトを仕留めたハンターは細い眉斑があることや腹部の模様、体長からタカ科のハイタカ（*Accipiter nisus*）であると確信した。筆者はハイタカを見るのは2度目であるが、狩りの瞬間は初めてだ。和名は「疾（はや）き鷹」に由来し、ハイタカに比べ体長のより大きなオオタカが入り込めないような木が密生した森の中を、アクセルとブレーキを巧みに使いネズミやリス、小鳥などの獲物を仕留める'森のハンター'である。分布は本州以北といわれ、三重県や奈良県の個体は冬鳥として一時的に確認されると考えられる。一方、アオバトは身近な森から山地まで生息している野鳥だが、声はすれども姿は見えず、となかなかその姿をみせない。

目の前で繰り広げられた十数秒のドラマ。弱肉強食があたりまえの自然界。弱いものは自然に淘汰される。自然の営みを垣間見た驚きと感動の一幕。興奮冷めやらぬ、しばらく頭から離れなかったのは言うまでもない。

ひとりごと 川端 守の

NO.15 愚庵（ぐあん）「巡礼日記」を歩く（その7）

鬼ヶ城

愚庵木本へ

明治26年10月3日。小坂の里を出発した愚庵は「小坂山を越えて木本に出つ」と記す。小坂山とはどこか。地図上には小坂峠とあるので、その辺りかと思う。

「矢の川越えの道路が、新田ー評議峠ー飛鳥から、新しく大泊ー佐田阪トンネルー飛鳥となったのは、昭和24年10月のことだった。」という熊野市史、中巻の指摘に出会って、ほっとした。この記述を参考にすると、愚庵の歩いたコースは、小阪ー小阪峠ー評議峠ー新田（木本）ということになる。

木本高校の辺りから、西の山麓をゆるやかに登っていく峠道を歩いたり車で行く人はほとんどいなくなったが、明治の頃は矢の川峠越えの主要ルートであり、定期バスも通行しており、途中に水大師口などというバス停もあった。

木本では「案内を頼み鬼が城を見物す」る。木本と有馬の間にある大岩（獅子岩か）は親知らずの難所と記し、七里御浜を眺める。

愚庵は新宮への道はとらず、直接本宮をめざす「有馬より右に転し、神木を経て、横垣峠といふを越ゆ」。世界遺産に登録された横垣峠の道は、熊野古道の名にふさわしい雰囲気を今も保つが「頂上に大師の水とて冷泉湧き出る処あり」という姿も、今と変わらない。「此峠いと嶮し、坂本に下」るが、坂本への下り道は、私の最も好む道でもある。

この日は六里余り歩いて「尾呂志の民家に宿る。」

お知らせ

企画展、イベント情報、センター周辺のちょっとした話題など、随時更新しています。ぜひご覧ください。

三重県立熊野古道センター公式チャンネル YouTube　YouTube動画公開中!

講演会やイベントの動画をアップロードしています。ぜひチャンネル登録お願いします。

公式X（旧Twitter）インスタグラム 随時配信中!

紀北町の古写真を探しています!

昭和以前に撮影された、紀北町の風景・街並み・祭り・行事・生活の様子等が分かる古写真を探しています。当該写真をお持ちの方はぜひご協力ください。

ご連絡は 熊野古道センター 事業課 まで

注意事項
・提供者ご本人が撮影した写真、または使用（複製・掲載・展示など）権を持つ写真に限ります。
・ご提供いただいた写真の全てを展示できない場合もございます。

センター敷地内『夢古道おわせ』

ぜひお立ち寄りください!

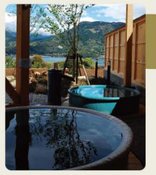
海鮮レストラン イサバヤ

尾鷲を一望できる海鮮レストランで、新鮮な魚介類を使った海鮮丼やステーキなど、漁師直営のお料理をお楽しみいただけます。

営業時間　午前11時～午後2時（オーダーストップ）

『イサバヤ』に関するお問い合わせは TEL 0597-23-0877

みえ尾鷲海洋深層水 夢古道の湯



深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

営業時間　午前10時～午後9時30分（入館受付:午後9時まで）

『夢古道おわせ』に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124

お車でお越しの方は…

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。（尾鷲北ICから約10分）
※尾鷲南ICからは約8分

電車でお越しの方は…

JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停（徒歩1分）、または三重交通「尾鷲駅口」バス停（徒歩5分）乗車→「熊野古道センター前」下車

熊野古道センターからのてがみ 2024年 春号

- 発行日:2024年3月10日（季刊）
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター
（三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク）
- 編集担当:亀田
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL 0597-25-2666
FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日（その他メンテナンス時休館）

熊野古道センター 検索

ホームページ
https://kumanokodocenter.com
60000240310YK

旬の企画展

企画展

写真で懐古・故郷の暮らしと風景 ～紀北町～

明治後期から昭和時代に撮影された三重県南部の町、紀北町の古写真を展示します。

2024 4/27(土)▸6/16(日)

●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室

ロビー展

北の道の軌跡 ～バスクからサンティアゴへ～

2024 4/27(土)▸5/12(日)

●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 展示棟ホール

絵地図作家植野めぐみ氏がこの春、スペインの巡礼路「北の道」を歩いて撮影した写真を展示します。写真でめぐるスペイン巡礼の旅をお楽しみください。

サン・セバスティアン大聖堂

特別展示室企画展

裏の屋敷資料展

2024 4/13(土)▸6/2(日)

●会期中無休

時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室

御浜町上市木にあった疳薬(かんやく)・小児医療に貢献した榎本家の診療所「裏の屋敷」に所蔵されていた資料を展示し「裏の屋敷」について解説します。

付属イベント

2024 4/27(土)

ギャラリートーク（展示解説）を開催します。

時間 ①午前10時～、②午後1時30分～（各回 約30分）
参加料 無料
定員 20名（事前申込不要・先着順）
場所 展示棟ホール
講師 植野めぐみ氏（絵地図作家）

コンチャ海岸

ロビー展

「熊野で見るべき風景」のはじまり『熊野百景』

2024 5/25(土)▸6/30(日)

●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 展示棟ホール

熊野観光の台本ともいわれ、吉野熊野国立公園指定の際には内務省の現地調査員も参考とした案内付き写真帳たちを紹介します。

『熊野百景』

体験学習

東紀州の四季を味わう料理教室

東紀州の美味しい食材や特産品を使って、季節のレシピと調理法を学ぶ料理教室を開催します。

2024 6/9(日)
和食の基本
受付 4月26日(金)～5月26日(日)午後5時まで

2024 7/14(日)
ちらし寿司と巻き寿司
彩り鮮やか
受付 5月30日(木)～6月30日(日)午後5時まで

時間 午後1時～3時
参加料 2,000円
定員 24名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 一般
場所 体験学習室
講師 西岡宏起氏（相可高校食物調理科教諭）
相可高校調理クラブの皆さん

●今回から申込受付期間が変更になります。（締め切りは開催日の2週間前です。）

令和6年度 東紀州の四季を味わう料理教室の日程が決定しました。

6年間 6回 開催予定

①2024年 6月9日(日)
②2024年 7月14日(日)
③2024年 9月29日(日)
④2024年 10月27日(日)
⑤2024年 12月22日(日)
⑥2025年 2月2日(日)

●詳細は熊野古道センター ホームページ等でお知らせします。

●イラストはイメージです。

スタッフコラム

はじめておもちつきました！

新春餅つき大会 復活！

餅つき大会を4年ぶりに開催、老若男女・国内外とわず大勢の方にご参加いただきました。

餅つき体験では同時に二人もしくは三人でつくので、難しそうだなあと思うのですが皆さん上手、杵はぶつかることなくいい音をたてていました。1人で杵を持てなかった女の子が、来年は1人でやると宣言していたのが可愛らしくも頼もしかったです。最後は成人男性3人による仕上げの本気搗き、すごい迫力、はねとぶお餅、ひときわ歓声があがっていました。

そしてやっぱり、つき立てのお餅の美味しさは別格ですね・・・！

講演会の様子

講演会

熊野の城 ～思いのほか多かった熊野の城跡～

講師に和田利信氏をお招きし、熊野の城跡にとどまらず、お城についての豆知識、山城の見方、調査の時の裏話など、時にはユーモアを交えて楽しくご講演いただきました。さすが小学校の先生で、和田氏の話に参加者はわき目もふらず聞き入っていました。残念ながら時間がたりず、赤木城まで話ができませんでしたが、今年もお城の企画が多くありますので、その時はぜひ参加してみてください。

大日山城（熊野市）

木本要害山城（熊野市）

新型コロナウイルスの感染状況により、内容は変更になる場合がございます。
●詳細はホームページでお知らせします。

お申込み・お問い合わせは、お電話か直接 熊野古道センターへどうぞ！ TEL.0597-25-2666

イベント情報

交流イベント

GW Dream Festa ゴールデンウイーク ドリームフェスタ

イベント期間 5/3(金・祝)▸5(日・祝)

5月3日(金・祝)～5日(日・祝)の期間中、芝生広場や交流棟ホール等において、ご家族そろって楽しめるイベントを開催します。ゴールデンウイークは、ぜひ熊野古道センターへお越しください。

イベントの内容は、4月中旬頃に熊野古道センター ホームページ等でお知らせします。

連続講座

古文書からひも解く地域の暮らし

史資料保存の大切さと地域の歴史・文化についての関心を深めていただくため、古文書の基礎的な知識の習得を目指す講座を開催します。

2024 4月～2025 3月までの 毎月第4土曜日（全12回）

講座の様子

時間 午後1時30分～3時30分
参加料 1,500円（資料代）
定員 20名（要申込・先着順）
場所 図書資料室または小ホール
講師 尾鷲古文書の会
受付 3月18日(月)～3月31日(日)午後5時まで

講座・講演

熊野古道水彩画教室

熊野古道や周辺の街並み、自然の風景を描きながら、水彩画の基礎知識や制作のポイントを学ぶ水彩画の教室を開催します。

2024 4/27(土) 5/25(土) 10/12(土) 11/9(土) ●全4回の連続講座

時間 午前10時～午後4時
参加料 3,000円/年間（保険料を含む）
定員 20名（要申込・先着順）
対象 中学生以上
場所 4/27(土) 熊野古道センター周辺、5/25以降は未定
●決まり次第、熊野古道センター ホームページにてお知らせします。
講師 三隅俊昭氏（画家）
受付 3月30日(土)午後5時まで

講座・講演

山歩き講座 初級編（春季）

山歩き初心者の方や登山のためのスキルアップを目指す経験者の方を対象とした山歩き講座です。2日連続の講座で1日目は座学、2日目は実習登山を行います。

2024 4/13(土)
時間 午前10時～午後3時
場所 体験学習室 他

2024 4/14(日) ●両日少雨実施
時間 午前7時30分～午後3時
場所 ツヅラト峠道～三浦峠道
●コースを変更する場合があります。

参加料 1,000円（保険料・資料代）
●別途JR運賃が必要
定員 15名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 小学3年生以上（小学生は保護者同伴）
講師 宮本秀男（熊野古道センター センター長・日本スポーツ協会 山岳コーチ2）
受付 3月30日(土)午後5時まで

体験学習

県民の日体験

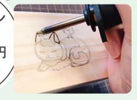
2024 4/20(土)

時間 午後1時～3時
対象 どなたでも
場所 交流棟大ホール
講師 熊野古道センタースタッフ
受付 当日受付

ひのきのライトスタンド
参加料 500円
定員 10名

4月18日の県民の日にちなみ、バーニングペン体験とひのきのライトスタンド作り体験を開催します。

バーニングペン体験
参加料 100円
定員 18名



知られざる熊野探訪ツアー

初夏の丸山千枚田と北山道探訪

熊野市紀和町内を通る古道の一つ北山道を歩き、水が張られた美しい棚田丸山千枚田を見学します。

2024 5/11(土) ●雨天の場合 5月12日(日)

時間 午前9時～午後3時（受付:午前8時30分～）
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 20名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 健脚者（歩行距離約10km）
場所 熊野市紀和町
案内人 橋本博（熊野古道センター 副センター長・樹木医）
受付 3月27日(水)～4月27日(土)午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー

自然と歴史の道 三木埼頼母集落跡を訪ねて

住居跡の石垣や半夏生の風景が広がる水田跡が残る、尾鷲市三木埼の頼母集落跡を訪ねます。

2024 6/8(土) ●雨天の場合 6月9日(日)

時間 午前9時～午後3時
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 20名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 健脚者
場所 頼母集落周辺（尾鷲市）
案内人 弓削猛氏（三木埼グリーンツーリズムインストラクター）
受付 4月25日(木)～5月25日(土)午後5時まで

集落跡に残る山の神

熊野古道自然学校

村嶋不動滝遊歩道植物観察会

熊野古道センターから徒歩3分にある村嶋不動滝遊歩道を歩きながら、樹木や野草を観察し、分類や生態について学ぶ自然観察会を開催します。

2024 6/15(土) ●雨天の場合 6月16日(日)

時間 午前10時～正午
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 15名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）
場所 村嶋不動滝遊歩道
（集合:三重県立熊野古道センター）
講師 山本和彦氏（三重自然誌の会会員）
受付 5月1日(水)～6月1日(土)午後5時まで

日曜わくわく ものづくり体験

毎週 日曜日開催！

東紀州で活躍中の木工職人や工芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。講師は週替わり、事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

時間 午後1時～3時まで受付
参加料 300円～ ●体験によって異なります。
場所 交流棟大ホール または展示棟ホール

詳しくは熊野古道センター ホームページでご確認いただけます。

和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター
住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100－1
TEL 0735-42-1044
FAX 0735-42-1560
E-mail e0624002@pref.wakayama.lg.jp

日増しに暖かさを感じる今日このごろとなりました。「紀伊山地の霊場と参詣道」は今年で登録されてから20年の節目を迎えます。

参詣道の保全活動である「道普請」活動は、令和5年度は1月末日現在で延べ32団体、1023名の方々が参加しました。（3月末までには、約10団体の道普請も予定されています。）今後もより多くの方々と共に道の保全に努めていきたいと思います。

和歌山県内の児童生徒を対象にした教育活動である「次世代育成事業」は、令和5年度は25校となり、931名の児童生徒が世界遺産に登録されている資産や価値について学び、更に熊野古道や、高野エリアを実際に歩いて肌で世界遺産を感じていただきました。

2月には、和歌山県内の小学生に世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について一人でも多くの皆さんに知ってもらうためにDVD作成を予定しています。

道普請の様子

令和5年11月中旬～令和6年1月末までの道普請参加団体（敬称略）●諸般の事情により、延期または中止、日程及び内容を変更する場合があります。

一般財団法人さわかみ財団、NTT西日本、株式会社日本道路、田辺市立本宮中学校、和歌山大学教育学部附属小学校、田辺市立上秋津中学校、那智勝浦町立下里小学校、東武トップツアーズ、新宮市立王子ヶ浜小学校 資材費が別途必要

次世代育成事業の様子

詳しくは当センターのウェブサイト https://www.sekaiisan-wakayama.jp をご覧ください。またご不明な点があれば当センターへお問い合わせください。